

# 有限会社ダイキ開発

## 2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年 9月～2024年 8月)



発行日：2024年9月20日

改定日：

# I. ごあいさつ

有限会社ダイキ開発は、平成4年の設立以来、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。ますます深刻化する地球温暖化や地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組みます。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

当社は、土木工事、石工事、ほ装工事、塗装工事、解体工事、とび・土工工事、鋼構造物工事、しゅんせつ工事、水道施設工事、測量業の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。又、環境経営の継続的改善に努めます。

### <環境保全への行動指針>

1. 省エネ・省資源の推進
  - ・節電、節水、エコドライブ、エコカーの活用による省エネ・省資源を推進し、事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制に努める。
2. 循環型社会への貢献
  - ・廃棄物排出量の削減及び再資源化、環境に配慮した商品の購入の推進に取り組み循環型社会の形成に貢献する。
3. 社会との協調
  - ・環境経営レポート等を積極的に公開し、社会とのコミュニケーション向上を高める。
4. 環境活動の評価・見直し
  - ・環境データの相互提供・交換を行い、活動の評価と見直しを行う。
5. 環境に配慮した施工技術の開発と客先への提案を推進します。
  - ・コンクリート、建設汚泥のリサイクル、工事騒音の低減に努める。
6. 地域貢献活動に努めます。
  - ・地域の防災・災害支援、また清掃等定期的に参加する。
7. 適用される環境関連法規などを遵守します。
8. 若手の採用と育成に努める。
9. 本方針を全従業員に周知し実行に努めます。

制定日：2015年5月25日

改定日：2023年10月26日

代表取締役社長 大谷 みゆき

## II. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社ダイキ開発

代表取締役社長 大谷 みゆき

(2) 所在地

本 社 兵庫県宍粟市山崎町今宿234番地

姫路支店 兵庫県姫路市梅ヶ谷町8-22

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 常務取締役 高瀬 正樹 TEL : 0790-63-0657

担当者 総務部 久保 郁子 FAX : 0790-62-2046

E-Mail : daikikaihatsu@cotton.ocn.ne.jp

HP : <http://daikikaihatu.com/>

(4) 事業内容

土木工事、石工事、舗装工事、塗装工事、解体工事、とび・土工工事、鋼構造物工事、しゅんせつ工事、水道施設工事、建築工事業、測量業

(5) 事業の規模

売上高 83,381万円

従業員 21名

延べ床面積 143㎡

(6) 事業年度 9月1日 ～ 8月31日

## III. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社ダイキ開発

対象事業所： 本社、姫路支店

活動：土木工事業、石工事業、舗装工事業、塗装工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業、建築工事業、測量業

## IV. 施工実績の紹介



道路改良工事



砂防堰堤工事

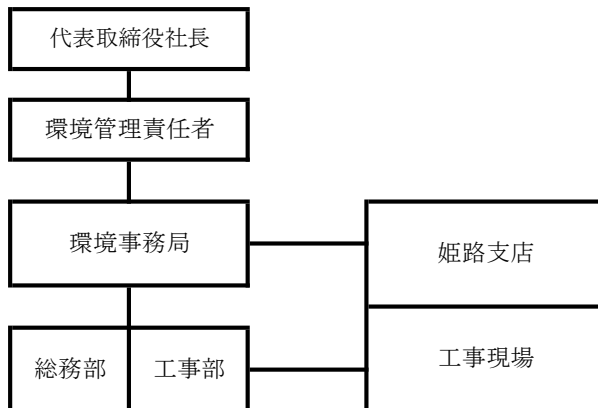


橋耐震・補修工事



急傾斜地崩壊防止工事

□環境経営システム組織



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、総務部の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>



#### IV. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	26,816	24,126	22,002
電力使用量	kWh	4,606	3,419	4,564
ガソリン使用量	L	10,476	8,839	8,475
軽油使用量	L	418	991	357
廃棄物排出量	kg			
一般廃棄物	kg	211	195	208
産業廃棄物	t	1,115	995	995
水使用量	m <sup>3</sup>	10	6	10

#### V. 環境経営目標及びその実績

##### (1) 中期目標

項目		年度	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>		26,816	26,548	26,280	26,012	25,743
	対基準			△ 1%	△ 2%	△ 3%	△ 4%
電力使用量削減 排出係数 0.311	kWh		4,606	4,560	4,514	4,468	4,422
	kg-CO <sub>2</sub>		1,432	1,418	1,404	1,389	1,375
ガソリン 使用量削減	L		10,476	10,371	10,266	10,162	10,057
	kg-CO <sub>2</sub>		24,304	24,061	23,818	23,575	23,332
軽油 使用量削減	L		418	414	410	405	401
	kg-CO <sub>2</sub>		1,078	1,068	1,057	1,046	1,035
II. 廃棄物排出量	対基準			△ 1%	△ 2%	△ 3%	△ 4%
	kg		211	209	207	205	201
産業廃棄物 リサイクル率の向上	%		99.7%	99.7%	99.7%	99.7%	99.7%
産業廃棄物の削減 混合廃棄物の削減	t		適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
III. 水使用量 削減	m <sup>3</sup>		10	10	10	10	10
	対基準			△ 1%	△ 2%	△ 3%	△ 4%
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件		実績不明	実態調査	目標設定	取組継続	取組継続
	対基準				取組開始		

※負荷の実績は工事現場を含む

※化学物質の使用はありません。

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力(株) 2021年度実績値の調整後係数 0.311kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用。

(2) 2023年度の実績

項目	年 度	2023年度の実績				
		2021年度 9月～8月	(2023年9月～2024年8月)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	26,816	26,280	22,002	119%	○
			△2%	△18%		
電力使用量削減 排出係数 0.311	kWh	4,606	4,514	4,564	99%	△
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	1,432	1,404	1,419		
			△2%	△1%		
ガソリン 使用量削減	L	10,476	10,266	8,475	121%	○
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	24,304	23,818	19,662		
			△2%	△21%		
軽油 使用量削減	L	418	410	357	115%	○
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	1,078	1,057	921		
			△2%	△15%		
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	211	207	208	99%	△
			△2%	△1%		
産業廃棄物 適正管理	- 排出量t	1,115	適正管理	397	-	○
建設リサイクル率 の向上	% 対基準	100%	100%	100%	100%	○
III. 水使用量 削減						
削減	m <sup>3</sup> 対基準	10.0	9.8	10.00	98%	△
			△2%	0%		
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	全件環境配 慮	全件実施	全件実施	-	○

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100(%)、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100(%)

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（80%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 建設リサイクル率％＝（再資源化量／産業廃棄物発生量）×100

注4) 環境に配慮した施工とは、騒音、振動、粉じん、道路の汚れ、水の汚れなどを防止し、廃棄物適正処理・3Rに努め、付近住民の生活に配慮した工事を言う。

## VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> (目標達成)		
(下記の通り)		(下記の通り)
<b>電力使用量の削減</b> (目標やや未達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	○	一部でクールビズも導入したが、もっと多くの工夫が必要であったため、次回に向け対策を考える。
・サーキュレーターの設置	◎	頻繁に使用する部屋に設置できた。次回は積極的に活用する。
・不要照明の消灯	○	階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。次回継続。
・設備の空運転禁止	○	昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、もっとこまめに入・切の操作をする。次回も継続する。
<b>ガソリン使用量の削減</b> (目標達成)		
・アイドリングストップ	△	概して停車中のエンジンストップが不十分だった。今後は徹底する。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。今後も継続。
・効率的な移動	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。次回は営業ルートを再検討する。
<b>軽油使用量の削減</b> (目標達成)		
・重機の空ふかしの禁止	△	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・アイドリングストップ	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。今後も継続。
・空気圧、オイル等の点検	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。次年度も、左記取組を継続する。
<b>一般廃棄物の削減</b> (目標やや未達成)		
・実態調査	○	45L袋の平均重量×月間の個数で計測した。今後も継続する。
・分別の徹底	○	ダンボールの分別が徹底できなかった。今後分別を徹底する。
		正確な排出量を把握しながら、削減に努める。
<b>産業廃棄物の適正管理</b> (適正管理、目標達成)		
・実態調査	○	正確な排出量を把握する工夫をする。
・素材ボックスの設置	○	分別ができ、状態が把握できるようになった。
・保管場所の掲示板を設置	○	設置済みである。
		今後も実態調査を継続しながら、削減に努める。
<b>建設リサイクル率の向上</b> (目標達成)		
・分別によるリサイクル推進	○	コンクリート殻の割合が多く、リサイクル率が高かった。
・仮設資材の再利用の推進	○	仮設資材を修理することで再利用に努めた。
<b>水使用量の削減</b> (目標やや未達成)		
・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
・節水シールの貼付とポスター掲示	○	簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。
<b>環境に配慮した施工の推進</b> (全件環境配慮施工実施できた)		
・工事分野別の技術・ノウハウ	△	各種工事分野の環境配慮工法について調査を開始。
・環境配慮施工の推進	○	可能な限り環境に配慮した施工を実施した。
		次年度も、左記取組を継続する。

## Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	分別解体等及び再資源化等の実施義務・報告と記録の保存	遵守
騒音規制法	特定施設の事前届出、地域別騒音基準の順守	遵守
振動規制法	特定施設の事前届出、地域別騒音基準の順守	遵守
水質汚濁法	油類・有害物質の保管	遵守
NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	遵守
グリーン購入法	出来る限り環境物品等を選択する	遵守
消防法	消火設備の定期点検	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機の定期点検の実施、記録、記録の保管	遵守
大気汚染防止法	解体・改修時の資格者による石綿の有無の事前調査、調査結果の有無報告、発注者への説明と現場掲示、記録の保存（3年）	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

## Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、より良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21に取り組み開始より、少しずつではありますが活動の重要性の理解が深まっています。

3Rなどの無駄をなくす取り組みは、社内活動として定着して来ているので、今後は更なる啓蒙活動を行い、全社員への徹底を図って行く必要があります。

コロナ禍において生産、消費、雇用が大幅に減少し、私たちの暮らしにも大きな影響を及ぼしている厳しい経済状況の中、目標を設定して実行し、目標を達成して来たことは、非常に評価出来ると考えます。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-
その他	否	-

2024年 9月 20日

代表取締役 大谷 みゆき